

平成 29 年度 併設校 AO 入試 総合考査 問題用紙【保健医療学部】
試験時間：90分

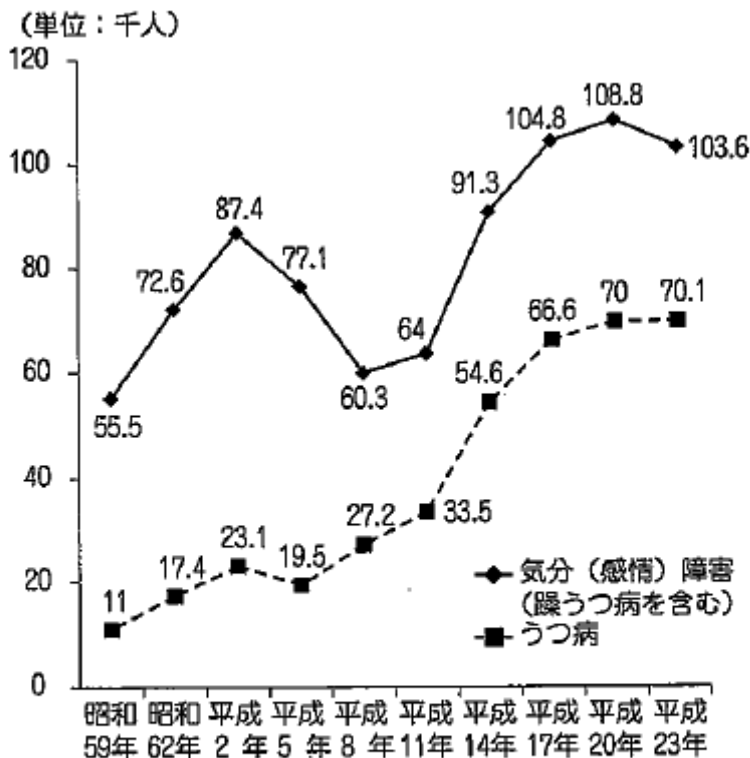
近年、社会全体としてうつ病と気分(感情)障害患者数は増加しており、労働による精神障害(うつ病)も増加してきている。うつ病あるいは抑うつ状態は、著しい労働能力の低下や長期休業を伴うメンタルヘルス不全としては、現在職場で最も多いものであり、その発症の防止と発病者への適切な対応は重要である。又、うつ病の一症状としての自殺を防止する意味でも、その発症の防止と発病者への適切な対応は重要である。

資料は、うつ病と気分(感情)障害患者数の推移(図表1)と過労死等及び精神障害の労災補償状況(図表2)に関する図表である。これをもとに以下の問に答えよ。

問1. 近年、労働災害(補償状況)の中でも精神障害(うつ病等)が増加しているが、その要因(社会的背景等)について考察しなさい。

問2. 働く人の精神障害(うつ病等)を減少させるには、どのような事をすれば良いか私見を述べよ。

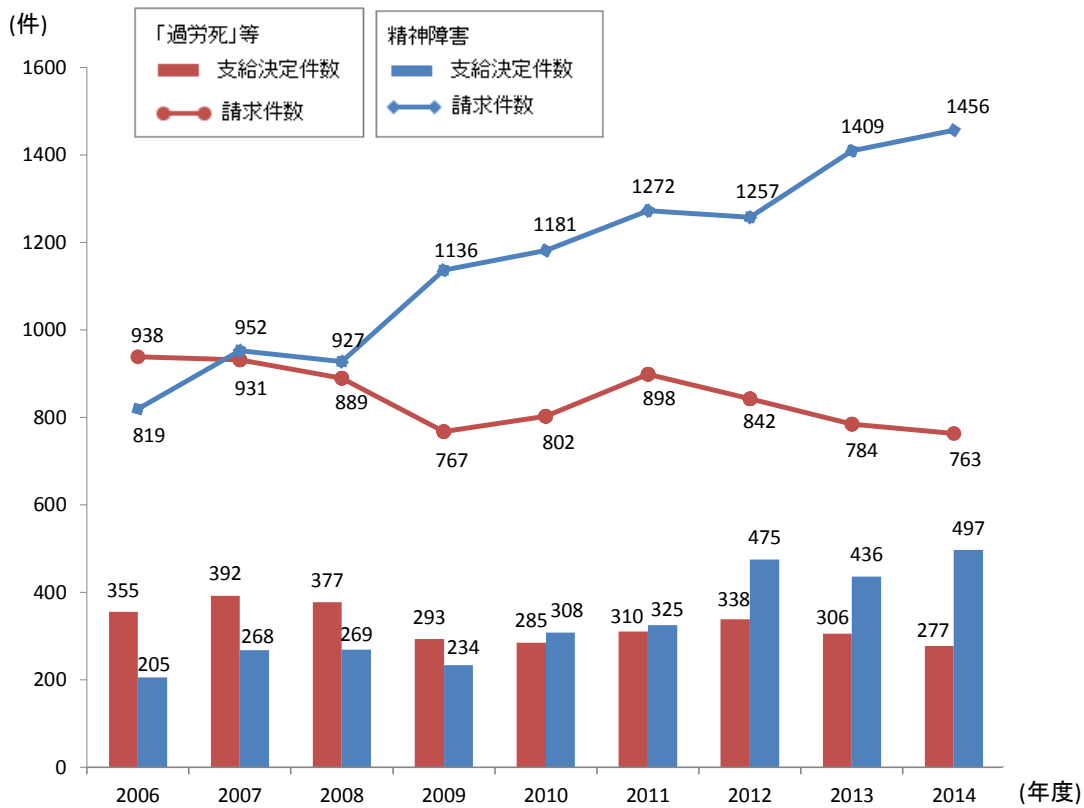
<図表1 うつ病と気分(感情)障害患者数の推移>



* 出典：厚生労働省 患者調査 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/10syoubu/index.html>

平成23年は宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値

<図表2 過労死等及び精神障害の労災補償状況>



<注>

1. 「過労死」等とは、業務により脳・心臓疾患（負傷に起因するものを除く）を発症した事案（死亡を含む）をいう。
2. 精神障害とは、業務により精神障害を発症した事案（自殺を含む）をいう。
3. 請求件数は当該年度に請求されたものの合計であるが、支給決定件数は当該年度に「業務上」と認定した件数であり、当該年度以前に請求されたものも含む。

《厚生労働省「厚生労働白書」（平成27年）より作成》